

2017年3月

各所属長並びに関係の皆様

吃音講習会実行委員会  
顧問 牧野泰美  
(国立特別支援教育総合研究所)

## 子どものレジリエンスを育てる 「ともに育む 哲学的対話」

第6回 親、教師、言語聴覚士のための吃音講習会のご案内

### 1 趣 旨

人の中で生きる人間にとって「自分だけが」「みんなと同じことができない」という孤独感や脱落感は大変な苦しみです。

どもる子どもたちは「言おうとしてもうまく言葉がでない」経験をします。

それが「相手に伝わらない」「理解されない」という思いにつながると、人とのコミュニケーションを自ら閉ざしていくことさえあります。そんなとき「どもる自分って?」「どう生きていけばいいの?」のような「問い」が生まれます。しかし、その「問い」への明確な答えはありません。では子どもたちはどのようにその答えを見つけていけばいいのでしょうか?

『問い』を持つことは哲学的対話のスタートです。

私たちはどもる子どもや大人たちと「出会い」「つながり」「対話する」中で、その「問い」に対する答え＝自分を活かす生き方を探ってきました。それは決して困難な道ではなく、楽しく、豊かな道でした。中でも「対話」には大きな力があることが、近年「オープンダイアログ」などの実践で実証され、世界的な話題となっています。

今回の講習会では、私たちが実際に年月を重ねてきた「対話の中で吃音とともによりよく生きる自分なりの生き方を見つける」…そのような『哲学的な対話』を柱として、子どもたちが本来もつレジリエンスが、「対話」を重ねる中でどのように引き出され、育まれていくのか、臨床家のみなさん、当事者、保護者の方々と確かめる機会になればと思います。

ここ大阪は、日本、いや世界でいちばん吃音とともに豊かに生きる実践者が暮らし、活動する場所です。また、保護者自らが子どもたちの出会いや対話ができる場を広げているところでもあります。そんな実践の歴史がある場所で、ご参加の方々と日々の取り組みを交流しながら、互いに学び合い交歓できたらと思っています。

石隈利紀・東京成徳大学応用心理学部教授(筑波大学名誉教授)を講師としてお招きしました。石隈さんは日本の学校心理学を築き上げた研究者であり、教育の「現場」で子どもと向き合ってきた実践家でもあります。「出会い」と「対話」の中で子どもが本来持つ強みを引き出し柔らかく生きることを自分で見つけていく道程についても、ご示唆をいただこうと思います。

ここ大阪でみなさんのご参加をお待ちしております。

大会実行委員長 桑田省吾(神戸市立本山南小学校そだちとこころの教室)

2 主 催 吃音を生きる子どもに同行する教師・言語聴覚士の会  
NPO法人大阪スタタリングプロジェクト

3 後 援 NPO法人全国ことばを育む会

4 日 時 2017年7月29日(土) 10:00~19:00  
30日(日) 9:20~16:45

- 5 会 場 ホテルアウイーナ大阪（公立学校共済組合大阪宿泊所）  
〒543-0031 大阪府大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12  
TEL 06-6772-1441

## 6 アクセス

◇新幹線「新大阪」からお越しの場合

1. 新幹線「新大阪」から、地下鉄御堂筋線「難波」まで約15分
2. 「難波」駅から近鉄電車に乗り換えて「上本町六丁目」まで約5分
3. 「上本町六丁目」から、徒歩3分

◇JR線「大阪」からお越しの場合 「新大阪」からとは別のルートもあります。

1. 「大阪」駅から地下鉄谷町線「東梅田」まで徒歩5分
2. 地下鉄谷町線「東梅田」から「谷町九丁目」まで約12分
3. 「谷町九丁目」駅から徒歩8分。

◇近鉄電車をご利用の場合 「上本町六丁目」から、徒歩3分

◇飛行機をご利用の場合 大阪伊丹空港から上本町行きリムジンバス35分、上本町駅下車

## 7 内容・プログラム 予定

7月29日（土） 9：30 受付

10：00－12：30 吃音の実践バザール

- ①講習会のこれまでの歩みと今回のねらい
- ②親、どもる人、教師の関西ネットワーク
- ③どもる人のための大阪吃音教室の実践
- ④竹内敏晴さんから学んだ日本語のレッスン（言語指導の理論と実際）

12：30－13：30 昼 食

13：30－14：30

基調提案① <哲学的対話>で子どもと向き合う  
伊藤伸二・日本吃音臨床研究会

14：30－16：30

ことばの教室の<対話をキーワードにした実践>発表  
千葉県/鹿児島県/栃木県/神奈川県

16：45－17：30

基調提案② ことばの教室の実践を基にした<対話>を巡る考察  
牧野泰美・国立特別支援教育総合研究所総括研究員

17：45－19：00 参加者のグループ討議

19：15－ 懇親会（希望者のみ）

7月30日（日） 9：00 受付

9：20－10：50 講義・演習① 石隈利紀・東京成徳大学教授

11：00－12：30 講義・演習② 石隈利紀・東京成徳大学教授

12：30－13：30 昼食

13：30－15：30 対談 石隈利紀&伊藤伸二

15：30－16：45 みんなで語ろう、ティーチイン

8 講習会参加費 6,000円

## 9 参加申し込み方法

- ①必要事項を記入し、ハガキか封書で、郵送する。
- ②吃音講習会のホームページから、参加申込書をダウンロードして、必要事項を記入し、メールか封書で送る。

☆参加申し込みと同時に、郵便局より参加費を振り込んで下さい。入金確認ができましたら、受講票をお送りします。なお、参加費は当日キャンセルされてもお返しできません。受講票は他の方にお譲り下さい

**必要事項**…①名前（ふりがな） ②所属名 ③自宅住所〒も ④電話番号（あれば、FAXも）  
⑤メールアドレス ⑥懇親会参加の有無 ⑦宿泊ホテルの斡旋に関する希望の有無

**郵便振替** 加入者名：吃音講習会 口座番号：00960-0-282459

**吃音講習会のHP（ホームページ）** 一親、教師、言語聴覚士のための吃音講習会—  
**アドレス：**<http://www.kituonkosyukai.com/>

### 申し込み先

メール [Mail:kituon-kosyukai@live.jp](mailto:Mail:kituon-kosyukai@live.jp)  
郵送 千葉県千葉市立院内小学校 ことばの教室 渡邊美穂  
〒260-0007 千葉県千葉市中央区祐光1-25-3

10 問い合わせ先 日本吃音臨床研究会  
〒572-0850 大阪府寝屋川市打上高塚町1-2-1526  
TEL/FAX 072-820-8244

## 11 宿泊

原則、宿泊は、各自直接、確保していただくことにしていますが、昨今、大阪のホテル事情は厳しく、なかなか予約がとりにくいと聞いています。そこで、早くお申し込みいただいた方のみ、事務局で予約しているホテルがありますので、ご紹介できます。

申し込みの際、宿泊斡旋希望とご記入下さい。7月28日（金）と7月29日（土）のホテルを予約しています。宿泊希望日を明記して下さい。

6月末までのお申し込みに限らせていただきます。先着順で、6月末までに事務局が予約している室数に達してしまった場合は、申し訳ありませんが、各自でご手配下さい。

KKRホテル大阪（最寄り駅 谷町線「谷町四丁目」・JR環状線「森ノ宮」）

〒540-0007 大阪市中央区馬場町2-24

TEL 06-6941-1122

シングル街側 8,500円程度

シングル大阪城側 9,500円程度

ツイン 7,500円程度

（ツインをご希望の方は、お申し込みの際、同宿の方のお名前をお知らせ下さい）

## 12 その他

講習会中の食事は、会場である「ホテルアウリーナ大阪のレストラン」か、近くには食事ができる所がたくさんありますので、それらをご利用下さい。

研修会場内、ロビーでは飲食ができませんので、あらかじめご了解下さい。

## 講師紹介

### 【特別講師】

#### ◇石隈 利紀 (いしくま としのり) 東京成徳大学教授 (筑波大学名誉教授)

学校心理学の第一人者。学校心理士スーパーバイザー・ガイダンスカウンセラー等。文部科学省中央教育審議会専門部会委員歴任。福島県子どもこころのサポートチーム協議会委員。著書として『学校心理学—教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス』、『寅さんとハマちゃんに学ぶ助け方・助けられ方の心理学～やわらかく生きるための6つのレッスン』(誠信書房)、『石隈・田村式援助シートによるチーム援助入門～学校心理学・実践編』(図書文化)、『学校の効果的な援助をめざして～学校心理学の最前線』(ナカニシヤ出版)、『よくわかる学校心理学』(ミネルヴァ書房)、『人生のレジリエンス(弾力・回復力)を培うために ライフスキルを高める心理教育』(金子書房)など。

### 【講師】

#### ◇牧野 泰美 (まきの やすみ) 国立特別支援教育総合研究所総括研究員

専門は言語障害教育、言語獲得、コミュニケーション障害とその支援など。「全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会(全難言協)」をはじめ、各地の「きこえとことばの教室」の担当者や、親の会等と連携しながら、子どものことばやコミュニケーションへの支援の在り方、きこえとことばの教室の役割などについて研究活動を進める。  
著書に、『言語障害のおともだち』(ミネルヴァ書房)など。

#### ◇伊藤 伸二 (いとう しんじ) 日本吃音臨床研究会会長

21歳の時、セルフヘルプグループ言友会を創立。大阪教育大学専任講師(言語障害児教育)などを経て、現在伊藤伸二ことばの相談室主宰。第1回吃音問題研究国際大会を大会会長として開催し、国際吃音連盟の礎を作る。竹内敏晴レッスン、アサーティブ・トレーニング、森田療法、論理療法、認知行動療法、当事者研究、ナラティブ・アプローチなどを活用し、吃音と上手につきあうことを探る。著書に、『両親指導の手引き書41 吃音とともに豊かに生きる』(NPO・法人全国ことばを育む会)、『吃音の当事者研究—どもる人がべてるの家と出会った』(金子書房)『どもる君へ いま伝えたいこと』(解放出版社)など。

## 懇親会のお知らせ

講習会1日目の終了後に、ホテルアウイーナ大阪で、懇親会を企画しています。

これまでの講習会でも、「この時間に本当にいろいろな話ができ」「日頃どもる子どもたちと関わる中で感じていることが、お互いに共感できた」「ちょっと悩んでいることへの解決の糸口が見つかった」などの感想が寄せられています。とっても貴重で、素敵な出会いの場です。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。

なお、会費は講習会参加費とは別で、3,500円です。当日、お願いします。

## 吃音講習会のホームページを知っていますか？

これまでの講習会の報告、大会要項に載せた資料などご覧になれます。講師の先生方からの貴重な提案や、ことばの教室の実践報告、どもる当事者の方の声など、参考になる資料が満載です。ぜひご覧ください。

どもる子どものレジリエンスを育てる  
一親、教師、言語聴覚士のための吃音講習会—  
アドレス：<http://www.kitunokosyukai.com/>



どもる子どものレジリエンスを育てる 一親、教師、言語聴覚士のための吃音講習会—

どもる子どものレジリエンス

日本では日本大学発達学部にレジリエンス(弾力性、柔軟性、回復力)が「困難な状況から立ちあがりしなやかに生き抜く力」として、精神医学、臨床心理学だけでなく、教育の世界にも広がっています。

どもる子どものみんなが、吃音(どもり)に悩んで苦しむのを助けてあげたい。吃音に悩み、学校へ行きたくないと思ってしまう子ども、多少の困難があっても、元気に学校生活を楽しんでいる姿に驚かす子どもたちもいます。また、どもる大人も、かなたに思っている。吃音に悩む子どもを左右する、様々な仕事に就いて豊かに生きていく人がたくさんいます。その一歩、開けよう。困難の入り、吃音に悩む、不十分な生活を